

## 第 3 回会合におけるビジョナリー意見のポイント

## &lt; 制度運用 &gt;

- ✓ 有望なプロジェクトから徹底的に議論しながらインターナショナルなワークショップを何回か開催して、グローバルなネットワークを作った上で開始するのが良い（北野委員）
- ✓ 会議のみならず、グローバルな連携はオンゴーイングで会話する必要あり。Face-to-face でないと生まれないものはイベントでやる。そういうコミュニティを作る必要がある（江田委員）
- ✓ 各プロジェクトについて、何をするのかを明らかにするための国際会議を実施する等のプロセスを組み込んでいくべき。また、決定に至るまでのプロセスそのものもこの会議で話し合っていくべき（藤井委員）

## &lt; 目標設定 &gt;

## 1 目標設定の手順

- ✓ ムーンショットの勝負をするのであれば、妄想レベルのことをきちんとやらないといけない。非常に綿密な妄想を多数出してシステムチックに突き詰めて考えていくという目標設定のサイクルを回すことになる（北野委員）
- ✓ テーマ設定において、我々はどういう未来を作るのかという物語が重要（北野委員）
- ✓ 世界中の人が日本に集まってくるくらいの魅力あるものにしたい。そのためにも明確な目標が必要。5Wを明確にして1Hは世界の知恵を集めて実現する（西口委員）

## 2 設定の考え方・基準

- ✓ 今の問題を対象とはしていない新しい世界や未来が開きそうな、良く分からないけどすごいものも目標に入っていた方が良い（北野委員）
- ✓ ムーンショットというからには何を指すのかという目的は必ず入れて欲しい（藤井委員）
- ✓ ゴールが具体的過ぎてはいけないのではないかと。視線とか方向性を示すまでにしておいた方が多様な研究を包括できるのではないかと。視線や方向性

が決まってから、国際的にそれぞれに関係する方を呼んでテーマを決めずに話し合うようなイベントをして、さらに具体的な研究に落とし込むのも良いのではないか（尾崎委員）

- ✓ 目標の粒度が一定だと予定調和になってしまう。段階の違う粒度になっているものを選ぶことが大切（落合委員）
- ✓ 過去に失敗した大穴を探り直してみるということも重要（落合委員）
- ✓ ナラティブであること、グローバルアジェンダを対象とすること、文理融合であることが必要（小林委員）
- ✓ ムーンショット目標はワクワクする部分がとても大切（江田委員）
- ✓ 産業界を巻き込んだ取り組みにするために、産業界にとっても魅力的な社会像やミッションとしてムーンショット目標を示すことが大事（NEDO 石塚理事長）

### 3 対象とする領域、研究開発

- ✓ 「ユニバーサル・ベーシック・インカム」を提案する。これは実証実験を大規模にやるだけでも、日本はトップランナーに立つことができる。また、実現にあたってMMT（現代貨幣理論）的な考え方、財務の考え方をもう一度見直すような研究が出来ないか（藤井委員）
- ✓ 「世界中のいかなる居住地においても自然災害発生後15分以内に救助が完了し、災害発生前と変わらない生活・事業環境が維持されている世界を作る」ことを提案する。この実現には様々なものを組み合わせたシステムとして設計・実装する必要がある。また、時間軸が入っている方が困難になるため、知恵を結集することができる（西口委員）
- ✓ テーマは科学的発見の自動化で、新しいことを発見し続ける企業がグーグル以上の力を持つようになる。提案する目標は「2050年までにノーベル賞クラスの発見を行えるようなAIシステム」で、AIが研究テーマも決めて仮説を作る（北野委員）
- ✓ 「地球防衛隊をつくる」ことを提案する。必要なテクノロジーとしては、人工光合成、光触媒、カーボンプライシングの観点でブロックチェーン等。プラスチックデブリについては民間が相当な金額を投資しており、民間企業も巻き込んでグローバルに展開できる（小林委員）
- ✓ 様々な粒度や大穴的なもの等、選考の考え方を例示するために、以下の複数の目標を例示する（落合委員）
  - 自動運転に関して「5年以内に、北海道から鹿児島まで48時間以内に到達する。その間に一回も人は運転に触れない」

- 海底探査に関して「挑戦的な振動目標を持って深海部に到達する」、「底の中にある深海生物をどれだけ発見するか」
- 実験プロトコルの自動化に関して「5年後に、生物実験に関わるコストを50%にする」。ソースコードを入れるとロボットが自動的に実験をすることで、簡単に再現実験が可能なフレームワークをつくる
- 大穴的なものとして、「地下に200メートル級の建物を建てる」、「犬と話したい」、「イルカと話したい」、「自分の体でスマホを充電したい」といった温故知新的なものや子どもの的なものもありうる
- ✓ 非常に少子化が進んでいる中、女性の妊娠・出産にまつわる話題に関心がある。男性、女性関係なく人が生まれるというのはどういうことをセットするのも良いのではないか（尾崎委員）
- ✓ 地球環境の問題はもう待ったなしの時期に来ており、日本としてもリードをすべきトピックではないか。安全な老後・安心な老後にも関心がある。大きな安心というものがムーンショットによって作られると良い（江田委員）